



えち鉄新駅 9月1日(土)

ハツ島 日華化学前 開業

● 関連記事 4 ページ

● ハツ島(えち鉄)

活動報告

8月24日～26日

中部地区路面電車サミット高岡大会

29日「このまちと～まれ」実行委員会

福井市地域生活交通活性化会議

9月 2日

北陸連携並行在来線等活用市民会議準備会(金沢)

9日 自転車マップ ワークショップ

17日

北陸連携並行在来線等活用市民会議設立総会(富山)

19日「このまちと～まれ」実行委員会

21日ROBA 9月例会

今後の予定

9月22日(土)

人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 京都

23日(日) カーフリーデー、このまちと～まれ

27日(木) 自転車マップ部会

未定 全国路面電車サミット準備会(仮称)

10月11日(木)

「このまちと～まれ」実行委員会(最終)

10月13日(土)～14日(日)

全国バスマップサミット広島大会

14日(日) 坂井エコフェスタ in みくに

19日(金) ROBA 例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

交通政策の未来戦略

(副題)まちづくりと交通権保証とで脱「クルマ社会」の実現

土居靖範 文理閣 ISBN978-4-89259-536-3 C3065 4000円+税

4000円の分厚い本であるが、自動車を規制して公共交通を支援すべきということを訴えるために、同じ話が何回も出てきたり、費用対効果はあまり高いとはいえない。ただ、ふだんから交通計画の文献に接していない人にとっては、富山 LRT の成功例や、それが連続立体の補償費があったためにできた特殊事例であること、韓国の方が公共交通政策では先を進み出したことなどさまざまな知識が得られる。

なお、本の中身とは別だが、韓国では日本の「駅スパート」のような乗り換え案内で、バスや飛行機の空席まで含めてリアルタイムで表示されるシステムが国主導で構築されつつあり、日本も負けてられないなと思いました。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

第 6 回中部地区路面電車サミット (@ 富山県高岡市)

(文：塚谷 康夫、写真：高橋 八洲太郎)

うだるような暑さが続く 8 月 25 日(土)、富山県高岡市において中部地区路面電車サミットのメインイベント(前後の日にも関連イベントあり)が開催されました。タイトルは、「発見! LRT とまちづくり」。

今回の目玉はオープンサミットであるということで、「中部地区」、「路面電車」という枠を離れて、全国各地から鉄道やまちづくりに関わる団体の参加がありました。これまでの常連である中部の路面電車がある都市だけでなく、路面電車ではない三岐鉄道北勢線(三重県)の報告もあり、単なる路面電車にとどまらず、公共交通全体を考えた体系である「LRT」という言葉の奥深さを感じられました。

そして、もう一つの特徴は“円卓会議”のような雰囲気をかもし出していること。これまでのサミットのように、ステージに講師・パネリストを何人が並べて、一般の人は客席でそのやり取りを眺めているだけというものではありません。写真のように客席の中央に大きく円形に席を配置して、司会や進行役も大きな円卓の一部に陣取っているような感じです。パネリストも数人ではなく、数十人が 2 重の輪になって自由に意見を述べ合うような「拡大パネリスト」という状態でした。



さて内容ですが、午前中は経営の危機を乗り越えた中部各地の鉄道の報告を元に、ROBA 会員である福井大学川上教授がコーディネーターとなって、各地の様々な事例が紹介されました。対象は北勢線、豊橋鉄道、京福電鉄・福井鉄道、万葉線、富山ライトレールです。当然 ROBA の出番もありました(内田会長の報告)。

昼食休憩の後は、万葉線の存続運動に力を尽くした故・蛸山昌一高岡短期大学学長の講演録を朗読した上で、「LRT とまちづくり」の本題での議論となりました。各地から集まったパネリストたちは、自分たちの住むまちの実情や理想のプランなどを披露し発言します。公共交通とまちづくりの有機的な結合を望む声もあり、逆に LRT に懐疑的な見方を示す声もありました。『万葉線は輸送密度からいってバス代替でよかったのでは?』という声には、『蛸山先生は“既存のストックを活かすこと”を専門の経済学の観点から主張しておられた。バス代替ではそれがなくなる。』との別の意見も。

パネリストが多くて、一般参加の私のようなものが発言する暇がなかったほど盛況な大会となりました(その点だけは少々不満でしたが)。帰りに万葉線を使おうとしたら、万葉線の人から、『一部区間工事のためのバス代替で遅延が発生している。』とアナウンス。やはり鉄道の長所の一つは定時性にすぐれた所にあると、身をもって実感した次第です。

平成19年度 第1回福井市地域生活交通活性化会議

日時：平成19年8月29日 13:30～15:30

場所：福井市役所 6B会議室

委員：座長 川本福井大学准教授

自治会連合会、連合婦人会、老人クラブ連合会、PTA 連合会、ROBA、福井鉄道自動車部、京福バス、まちづくり福井、光タクシー、えちぜん鉄道、県バス協会、県交通運輸産業労働組合協議会、福井運輸支局、県・総合交通課、市・交通政策室

目的：平成18年10月度道路運送法改正により、地域の関係者が地域交通を検討する「地域交通会議」のしくみが導入された。それに従い多様なニーズに的確に対応した運送サービスを提供し、活力ある地域社会を実現すること。（主に、バス交通に関する会議である。）

議題：

- 設置要綱の改正について（法改正に基づく）

地域が必要な公共交通については市が主催する地域公共交通会議において協議し合意を経ることにより、運賃・路線等の手続きを弾力化・簡略化する。

- テクノポート号の試行実験の10月以降継続について

坂井市の協議会でも議論されている。バスからジャンボタクシーに変更し、予約制を維持して継続運行することが確認された。但し、委員からは「乗客が伸びない原因分析や利用者のニーズ把握がどのようにされて今後の運行にどう活かすか、利用者拡大の方策が明確になっていない。」という指摘がありました。（内田も当該意見を述べています）

- 今年度の取り組み

えちぜん鉄道新駅設置事業 2駅を9月1日設置

路線バス活性化推進事業

京福バス鮎川線→昨年度地域住民のアンケートを実施→乗降データをもとに分析→得られた結果をもとに具体策を次年度実施

転入者に対するモビリティ・マネジメント

転入者に時刻表や「のりのりマップ」を提供。7月～8月に転入者にアンケート実施。9月～10月回収、結果分析する。

公共交通情報発信

市政広報や交通政策室のHPを立ち上げた。今後公共交通利用の呼びかけ利用促進のチラシ配布を予定（20年3月）

== == == == == == == == == == ==

感想：全体的に議論は低調。法改正によりこれまで以上に当該会議の重要性が増し、地域交通の活性化の鍵を握る位置づけとなるにもかかわらず、議題に上がっている地域交通活性化の施策内容では、その進展は遅々としたものであろう。

最小のコストでという条件が付いている以上、画期的な改革は難しいのだろうか。特に鮎川線ではこれから具体策が示されることになると思うが、福井市から示される具体策の論議にROBAも事前に加われないものだろうか。具体案が示されると、そのプランに沿った議論しかできなくなるからである。代わり映えのしない具体案ではないかと、つつい心配してしまいます。

内田桂嗣

えちぜん鉄道新駅ダブル開業式(9月1日)

文・写真 塚谷 康夫

もうすぐ秋の新学期を迎えようとする9月1日の土曜日に、えちぜん鉄道三国あわら線に新たに2つの駅が誕生しました。福大前西福井駅と新田塚駅の間にある、「ハツ島駅」と「日華化学前駅」です。もともとのこの辺りは住宅地化が進み、京福時代から周辺住民の駅設置要望があった場所ですが、えちぜん鉄道発足から5年を経て、ようやく新駅(しかも、同時に2駅も)実現の運びとなりました。「日華化学前駅」については、福井の鉄道では初めての“ネーミング・ライツ”(命名権)導入です。

まずは「ハツ島駅」。開業式典の行われる場所には、朝早くから地元住民や鉄道ファンが数多く詰め掛けていました。駅の前には特設の記念グッズ売り場も設けられ、売れ行きも上々のようです。そしていよいよ開業式典。鉄道関係者の挨拶のあと、特別列車の前でテープカット、乗務員への花束贈呈、駅名プレートの除幕式と続きます。

そして、関係者が特別列車で移動しての「日華化学前駅」の開業式典というあわただしいスケジュール。こちらでも同様のセレモニーが行われました。

ROBAとしてもこの新駅開業のお手伝いを、というわけで、それぞれの駅とその周辺の電車・バスの発車時刻などを載せた「地域時刻表」を作成、配布しました。用意したものがあっという間にさばけるほど、人気がありました。

これからも、未永く周辺住民に愛される駅になってほしいですね



●新駅開業記念品

●ROBAが配布した時刻表(ハツ島駅用)



●福井県産木材を使ったベンチ



えちぜん鉄道とくらしの研究所の共催で、電車に乗って行く食育ツアーがあり「電車利用と環境問題」のことで話をしてきました。参加者は定員いっぱいの50人で、キャンセル待ちもかなりの人数あったと聞きました。

当日は福井駅午前11時26分発の電車で永平寺口駅まで向かいました。行きの電車はツアー参加者や永平寺参拝のお客さんでかなりこんでいましたが、永平寺口の駅でほとんど降りてしまいました。ツアー参加者は駅から歩いて永平寺商工会館に移動しました。

まず、大本山永平寺の老師より食のことにたいへんありがたい講演を頂き、その後永平寺の食事作法により郷土料理をいただきました。

その後、今日の料理のレシピ紹介があり食事終了後私が「電車利用と環境問題」のテーマで話しました。私は「歩自路バ」をメインにすえて話しました。あとで参加者に聞いてみたところえちぜん鉄道に乗ったのは初めてというかたが半数以上いました。

しかし一部私が紹介した「のりのりマップ」に関心を示すひともいました。また9月23日のカーフリーデーについても紹介しました。食がメインの企画だけあってほとんどが女性でした。また話は変わりますが、行きの電車では永平寺参拝の観光客もかなりいてアテンダントさんが親切丁寧に観光案内している姿が印象的でした。県外からの観光客の方と話しましたがアテンダントさんの応対にかなり好感を持ち、また乗ってみたいと言っていました。

報告 / 玉井 秀和

北陸連携並行在来線等活用市民会議の設立総会を開催

去る9月17日、富山市の富山県民会館にて、北陸連携並行在来線等活用市民会議の設立総会を開催致しましたので報告致します。

北陸連携並行在来線等活用市民会議は、富山市の公共交通とやま市民応援団と富山県交通政策研究グループ、高岡市の路面電車と都市の未来を考える会・高岡(RACDA高岡)、金沢市の金沢・LRTと暮らしを考える会、そしてROBAが連携して、北陸新幹線開業によってJR西日本の経営から分離される北陸本線及びそれに接続する鉄道網をどのように活用するかについて、住民・利用者の視点から研究する枠組みで、今年6月から協議を重ねてきましたが、ようやく設立総会を開催するに至ったものです。



設立総会では第1部で福井大学大学院教授の川上洋司先生の講演会「新幹線開業に向けた北陸地域公共交通整備 - 課題と展望 - 」が行われ、第2部で設立総会が行われました。

講演では、「新幹線開業と並行在来線の経営分離は公共交通網再編のチャンス。新幹線が来れば地域が振興するわけではなく、地域・駅周辺整備、関連交通網の整備という受け皿があって始めて地域が振興される。大都市と地方の交流は、大都市の魅きつける力が大きく、地方の魅きつける力が相対的に小さいが、地方において地域が連携することで地域の個性の総和によって大都市との双方向の交流へと変えるべき。北陸は、鉄道再生・LRT導入の実績を活かし、引き算・現状維持ではなく足し算による既存地域鉄道網の再編強化を行うべき。『どう活かすか』の総合的地域戦略が不可欠。』とのお話が印象的でした。

設立総会では、設立趣旨の説明、規約の決定、世話役の選出があり、各団体間のコーディネーターとなる世話役に私(清水)が選出されました。また、富山県交通政策研究グループの楠さんから「並行在来線の経営の課題」として並行在来線についての各種データが示され、その中で、しなの鉄道の経営改善が参考になるとの指摘がなされました。

さらに、提案の方向性と今後の検討スケジュールの発表では、研究成果は各団体が地域に持ち帰り、各団体の得意な方法・形式で住民に情報提供・提案し、そこで住民からの意見・提案をもらい、さらなる研究に反映するという方法をとる旨、及び、今後、毎月1~2回の研究会を開催し、来春中間報告を行い、来秋本報告を行う旨発表しました。

参加者は構成・協力団体メンバー、一般、報道関係者を含めて約80人。テレビ局が複数入り、新聞記者も多く、関心の高さをうかがわせました。

今後、基礎的なデータや理論をしっかりと押さえて研究を行い、成果を出していかなければなりません。最初だけの打ち上げ花火にはしたくない。そう自覚した設立総会でした。

(文：清水省吾)

「ふるさと電車に乗って」録音てんまつ記

ふるさと電車に乗って

詞：内田桂嗣

曲：林 照翁



C Em F G C Em F G C
1. ピンク色した 桜のトンネル抜けると 幼い頃が なつかしい
Am Em F G E F D7 G
足羽川に響く 電車の足音 耳を澄ませば 遠くへ流れる
C Em F G C
春に走るよ ふるさと電車に乗って

2. みどり溢れた若木を 揺らして走る 海の潮風 淡い初恋
君にささやく 電車の中で 花火の太鼓で 消されて去った
夏に走るよ ふるさと電車に乗って

3. 紅く染まる里山に 夕陽が沈む あの日と同じ 母の面影
元気であるか 稲穂のかおり いつまでも 待ってておくれ
秋に走るよ ふるさと電車に乗って

4. 白い雪の光線 背に受けて 君の姿は 僕を写してる
みんなの夢を 乗せて切符に いつも一緒だ これからも
冬に走るよ ふるさと電車に乗って

街を走るよ ふるさと電車に乗って
つないだ心は ふるさと電車に乗って

内田さんから6月末「ふるさと電車に乗って」の詞をいただいた。なんとか9月16日(日)に録音完了。地獄の(?)毎日から、やっと開放されスッキリした反面、寂しさも。

最初、詞にメロディはわりと簡単についたので、ぼちぼち歌う人を探すかな?とのんびりかまえていました。ところが8月下旬、内田さんから9月23日(日)の「カーフリーデー2007」のFM(福井街角放送 77.3MHz / am10:00~30)で流すとのこと。こりゃー大変とアレンジを考え、多重録音機でカラオケをつくり、写真のみなさんに歌っていただきました。

なお、FMで聞けなかった方は変集長までCDを注文してください。ROBAのホームページでも聞けるようにしたいと思っています。

照ちゃんの気になる風景 part6



突如、住宅街に現れた「稲架掛け（はさかけ）」。その昔、乾燥機がなかった時代はこのようなお日様の力を借りて、稲を乾燥し脱穀していました。

刈り取った直後の籾には水分が多く含まれているので、15%程度まで乾燥させることでお米のおいしさが引き立ち、保存性も高まるのです。

また、刈り取り後ただちに脱粒(コンバインでの刈り取り)した場合と10日間「はさ」で干した場合とでは早生種(ハナエチゼンなど)で5%、晩生種(日本晴)で10%程度の収量差が生ずるとも言われています。

収穫の秋、また、食欲の秋、みなさんお米を食べる時は
お百姓さんに感謝しつつおいしく食べましょう！

なぜ田んぼのことがこんなに詳しいのか？実はこの写真は変集長の田んぼなのです

作 / 漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「9/23(日)FM福井街角放送 77.3MHz /
am10:00~30 必ず聞いてね！」

塚谷(副編集長)

「自転車マップ調査で、競輪選手や職質の警官と
出会えました」

内田(発行責任者)

「夏の後はず、秋になるみたいですね！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>